

商品名 ジルムロ配合OD錠LD「日医工」 医薬品基本情報

薬効	2149 その他の血圧降下剤	一般名	アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩配合剤（1）口腔内崩壊錠
英名	ZilMlo OD	剤型	錠
薬価	26.90	規格	1錠
メーカー	日医工	毒劇区分	（劇）

ジルムロ配合OD錠LD「日医工」の効能・効果

高血圧症

ジルムロ配合OD錠LD「日医工」の使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、アリスキレンフマル酸塩投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 両側性腎動脈狭窄、片腎で腎動脈狭窄、高カリウム血症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 手術前24時間	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	希望禁止
4. 腎機能障害、血清カリウム値が高くなりやすい、コントロール不良の糖尿病、脳血管障害、嚴重な減塩療法中、薬剤過敏症の既往、重篤な腎機能障害、eGFR 15mL/min/1.73m ² 未満、血液透析中、中等度肝機能障害、Child-Pugh分類スコア：7～9、高度肝機能障害、Child-Pugh分類スコア：10以上、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ジルムロ配合OD錠LD「日医工」の副作用等

1. 顔面腫脹、口唇腫脹、舌腫脹、咽頭腫脹、喉頭腫脹、腫脹、血管浮腫、ショック、失神、冷感、嘔吐、意識消失、急性腎障害、高カリウム血症、劇症肝炎、黄疸、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、肝機能障害、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少、房室ブロック、徐脈、めまい	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2. 過敏症、発疹、そう痒、じん麻疹、光線過敏症、多形紅斑、血管炎、胸痛、洞房ブロック、房室ブロック、洞停止、頻脈、頭重、眠気、振戦、末梢神経障害、気分動揺、不眠、錐体外路症状、代謝異常、血中カリウム上昇、血清コレステロール上昇、高血糖、尿中ブドウ糖陽性、軟便、嘔気、嘔吐、口渇、消化不良、排便回数増加、腹部膨満、胃腸炎、膵炎、LDH上昇、腹水、赤血球減少、白血球増加、紫斑、BUN上昇、頻尿、夜間頻尿、尿管結石、尿潜血陽性、尿中蛋白陽性、勃起障害、排尿障害、筋緊張亢進、筋痙攣、背痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感、しびれ、脱力感、耳鳴、鼻出血、味覚異常、疲労、咳、発熱、視力異常、呼吸困難、異常感覚、多汗、血中カリウム減少、女性化乳房、脱毛、鼻炎、体重増加、体重減少、疼痛、皮膚変色
3. 湿疹、めまい、ふらつき、浮腫、心房細動、徐脈、動悸、血圧低下、ほてり、熱感、顔面潮紅、期外収縮、頭痛、血中尿酸上昇、糖尿病、下痢、心窩部痛、便秘、口内炎、ALT上昇、AST上昇、ALP上昇、 γ -GTP上昇、ヘモグロビン減少、クレアチニン上昇、血中CK上昇、歯肉肥厚
4. 急速に腎機能悪化、急激な血圧低下、腎不全、頭蓋形成不全、肺形成不全、腎形成不全、死亡、羊水過少症、低血圧、高カリウム血症、四肢拘縮、頭蓋顔面変形、肺低形成、妊娠期間延長、分娩時間延長、出生仔腎盂拡張、体重増加抑制、脳梗塞、ショック、著しい血圧低下、反射性頻脈、心筋梗塞、不整脈、心室性頻拍

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ジルムロ配合OD錠LD「日医工」の相互作用

1. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	非致死性脳卒中・腎機能障害・高カリウム血症及び低血圧のリスク増加
理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強

投与条件	糖尿病患者に使用する場合（ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く）
指示	禁止

2. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	-
理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強

投与条件	eGFRが60mL／min／1.73m ² 未満の腎機能障害
指示	原則禁止

3. 薬剤名等：降圧作用を有する薬剤

発現事象	降圧作用が増強
理由・原因	相互に作用を増強

投与条件	-
指示	注意

4. 薬剤名等：カリウム保持性利尿剤

	発現事象	血清カリウム値が上昇	投与条件	-
	理由・原因	アジルサルタンのアルドステロン分泌抑制作用によりカリウム貯留作用が増強	指示	注意
5. 薬剤名等：カリウム補給剤				
	発現事象	血清カリウム値が上昇	投与条件	-
	理由・原因	アジルサルタンのアルドステロン分泌抑制作用によりカリウム貯留作用が増強	指示	注意
6. 薬剤名等：利尿降圧剤				
	発現事象	降圧作用が増強	投与条件	アジルサルタンを初めて投与
	理由・原因	利尿降圧剤で治療を受けている患者にはレニン活性が亢進している患者が多く、アジルサルタンが奏効しやすい	指示	注意
7. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩				
	発現事象	高カリウム血症、低血圧、腎機能障害	投与条件	-
	理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強	指示	注意
8. 薬剤名等：アンジオテンシン変換酵素阻害剤				
	発現事象	高カリウム血症、低血圧、腎機能障害	投与条件	-
	理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強	指示	注意
9. 薬剤名等：リチウム				
	発現事象	中毒	投与条件	-
	理由・原因	アジルサルタンにより腎尿細管におけるリチウムの再吸収が促進	指示	注意
10. 薬剤名等：非ステロイド性消炎鎮痛剤				
	発現事象	降圧作用が減弱	投与条件	-
	理由・原因	非ステロイド性消炎鎮痛剤は血管拡張作用を有するプロスタグランジンの合成を阻害	指示	注意
11. 薬剤名等：非ステロイド性消炎鎮痛剤				
	発現事象	さらに腎機能が悪化	投与条件	-
	理由・原因	非ステロイド性消炎鎮痛剤のプロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量が低下	指示	注意
12. 薬剤名等：CYP3A4阻害剤				
	発現事象	アムロジピンベシル酸塩の血中濃度が上昇	投与条件	-
	理由・原因	アムロジピンベシル酸塩の代謝が競合的に阻害	指示	注意

13. 薬剤名等：CYP3A4誘導剤

発現事象	アムロジピンベシル酸塩の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	アムロジピンベシル酸塩の代謝が促進	指示	注意

14. 薬剤名等：グレープフルーツジュース

発現事象	アムロジピンベシル酸塩の降圧作用が増強	投与条件	-
理由・原因	グレープフルーツに含まれる成分がアムロジピンベシル酸塩の代謝を阻害し、アムロジピンベシル酸塩の血中濃度が上昇	指示	注意

15. 薬剤名等：シンバスタチン

発現事象	AUCが77%上昇	投与条件	シンバスタチン80mg（国内未承認の高用量）との併用
理由・原因	アムロジピンベシル酸塩	指示	注意

16. 薬剤名等：タクロリムス

発現事象	血中濃度が上昇し腎障害等のタクロリムスの副作用が発現	投与条件	-
理由・原因	アムロジピンベシル酸塩とタクロリムスは、主としてCYP3A4により代謝されるため、併用によりタクロリムスの代謝が阻害	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』